



「おでんの「ちくわぶ」が通じない!!」

どーもっし、なじよだべっし！とスタートしたけど、この後が続かないヌリです。もうすぐ置賜5年目の秋をむかえます。早いもんですねー。5年って、何かそんなことしか言えないけど。最近では同年代の友達とサッカーゲームでW杯優勝するという、中学生並みの趣味に全力そいでます。その友達がおでんの「ちくわぶ」を知らないそうです。色々調べてみたら、東北では「ちくわぶ」はマイナーらしい。スーパーに売っていたので、「ちくわぶ」の美味さをみんなに教えようと思います。

さて、先日のこと。親戚(一人)が米沢に仕事で来ることになり、何かしら案内すること(ハメに)になりました。10年ぶりくらいに会うので、何を話せばいいのやら。。。父親の兄なので、近い親戚と言えば近いけど、さっぱりわからんちん。米沢駅まで迎えに行き「あとはお任せ」というので、米沢牛の料亭にでも行って、奢ってもらおうかと思ったけど、帰りの新幹線代がなくなるとかわいそうなので、やめました。

とりあえず、茶でも飲んで、ダラダラと話すこと1時間。意外と、俺、話すじゃん(笑)自分でびっくりした。この5年間、置賜の歴史や文化、風習など色々見てきたからか、いつの間にか物知りになっていたりした。それを、得意気に話してみたけど、何だか興味ないみたい。しょーがねーなー、白布方面にドライブだ！「ん～自然がいっぱいだ」というコメントしか出てこないため、ガソリン無駄使いしたと悟る。

まあ、移住に興味ある若者は別として、フツーはこんなもんかも。僕のように協力隊なんて経験すると、何で山形選んだのか？なんで、ずっといるのか？とか、セッで考えないといけなから、自然と置賜のこと知りたくなるんだろうな。こうして、久々の親戚との面会は終了しました。

「ナポレオンの村」というドラマ知ってますか？たま～に見るんですが、「いやいや、そんなうまいかないから！」とツッコミをいれながらも、放送中は画面に釘付けです。実はたま～にはではなく毎回観てます(笑)

いやいや、こういうストーリーがドラマになるなんて時代は変わりましたねえ。昔は「東京ラブストーリー」だったのにな。

そして、かつて協力隊のドラマもありました。「遅咲きのヒマワリ」です。このドラマは、現役の協力隊からは、そんなに上手いかないよ～と言われながらも、自分たちの仕事がドラマで全国放送されてることがうれしかったものです。本音を言えば、このドラマはもっと盛り上がると思ってました。だって、今までこんなドラマはなかったし、川西町などの身近な町を舞台にした町おこしストーリーなんですから。地元の人たちにとって町おこしなんて遠い存在かもしれない。けれど、そういう活動が必要な場所はたくさんあるという事実は避けられないなと。これは今でも思いますね。

日本の過疎化がすすむ地域というのは、町おこしが必要になってからでは、もう遅いのかもかもしれません。かといって、事前に対策をとれば、過疎化にならないというものでもないでしょう。景気が悪くなって、若者は職を求めて都会に行き、地元の雇用が減り、経済力が落ち、高齢化がすすみ、若者が経済的に自立できなくなり、結婚しなくなり、出生率が低くなり、というループをくりかえすようになります。と、悲観的なことを考えていると、誰でも嫌になるものです。こういう誰のせいでもないようなことは解決するという方向に考えないほうがいいですね。やっぱ思うのは、自分が思ったようにすればいいんだと思います(笑)

町おこしについて悲観的なことを書いたら、自分までマイナス思考になりそう(笑)

最近友達と遊ぶのが楽しいです。BBQしたり酒飲んだり、ゲームしたり、その他もろもろ。。。毎回、お互いの知り合いを連れてきたりして、メンバーが毎回新しいので名前が覚えられませんが。何がいかって、みんな気さくな人間ばかりで、自分がライブするという情報をみんなに流してくれたり、BBQすると、元料理人が色々作ってくれたり。いいもんですね～。

さて、土日は外に出ると、イオンの前の通りが混んでいて、こんなにもみな同じところへ行くのかと思うのも2年目。ホントに毎週車が多いです。という自分が走ってますから。すっかり車生活に馴染んでしまいましたが、地元には、自転車と電車がメインの交通手段だったので、たまに電車に乗りたくなります。

京浜東北線は空いていれば座って、音楽聴いていたりしますが、社内のテレビを観たりすると、たまーに面白い広告が流れてます。一回、高知県に是非おこしてください！というCMをみて、こんなところまで流すとは、本気だな！と感心したものでした。

今日は知り合いと「都会の電車はよくわからないから耐えられない」的話をしましたが、やはり、都会出身の自分には、耐えられないというより、それしかないから、我慢して電車に乗るという選択が自然に出ていたのと、自分を振り返ったのでした。

こういう話をした時に、最近の僕は、思ったことを何でも聞いてしまうようにしています。たとえば、電車が嫌だから都会は嫌だみたいな話をするなら「じゃあ、都会には住みたくない？」と聞く「住みたくはないけど、店とか色々あるしねー」というので「確かに、街を歩けば、色々情報が入ってきて、好奇心が湧くね」と言ってみたり。以前は、嫌われるかなとか色々気にしていましたが、こんな程度の話をしただけで根にもたれたり、アレコレ詮索されてしまうような関係性ならそれ以上、発展しないので、もういいやと思ってます。店があるから暮らしが楽しいわけではないけれど、色々な人がいるという事を経験するのは大事な事だと思います。

と、ここまで話しておいてなんですが。。。確信めいたことがあります。それは、「ないものねだり」ということです。都会にいれば田舎が良いと言い、田舎にいれば都会がいいという。電車があんな混んでるのに？自分には関係ないと思いきや、都会暮らしで電車はメインの交通手段ですよ。良い面ばかり見ようとするのは誰でも同じかもしれません。

都会と田舎。考えれば考えるほど、意味がわからなくなります。人間は同じなのに、住んでる場所で、こんなにも思うことが違うのかと。自分で言うのもおかしな話なんですが、僕は感受性が強いので、俗に言うフツーの人とは見ている景色が違うと思います。何かをすれば、それに関わる周辺の事まで見えてくる、見ようとする。その物事の本質は何なのか？知ろうとする。こういうことは人に言ってもなかなか伝わりません。だから、「都会の電車が・・・」みたいな話をすると相手の人に、中身がスカスカなこと言ったなあ、少し後悔します(笑)自分が何か知ってるわけでもないのに、こういうことを言う癖があるんだなあ。相手はそこまで深く考えてないと思いますが。

協力隊というのは、間違いなく自分をそうさせた原因ではあります。もともと、こういう性格ではありますが、町おこしとか地域貢献とか、自分がやらなそうなことだったのに、何故か、そういう事をしたらおもしろそうとか、思考回路が変わりましたね。役に立つか立たないかわかりませんが、自分が何かできる能力があるんなら、仲良くしてくれる友達がプチ・ハッピーになるくらいのことを実践してみたいものです。そうしたら、またみんなで遊べるから(笑)

